

## 第2回府中市スポーツ推進計画検討協議会 会議録

■日時：平成25年5月15日（水）午前10時～12時

■会場：府中駅北第2庁舎3階 第1会議室

■出席：（50音順）

[委員] 8名

安藤美江委員、上村好美委員、菊山直幸委員、小島壽一郎委員、島中雅人委員、  
須藤靖子委員、谷合しのぶ委員、渡辺雅子委員

[事務局] 4名

矢ヶ崎生涯学習スポーツ課長、古田生涯学習スポーツ課長補佐兼スポーツ推進計画  
担当副主幹、和田スポーツ推進係長、井上事務職員

■欠席委員：

後藤廣史委員、中川健介委員

■傍聴者：なし

■議事

- 1 府中市のスポーツを取り巻く状況について
- 2 旧計画の振り返りについて
- 3 その他

## 開会

○菊山会長 皆さん、おはようございます。第2回の府中市スポーツ推進計画検討協議会、これから開きたいと思います。お忙しい中、ありがとうございます。

5月といいますと、府中はくらやみ祭で始まって、今月末はダービーなのでしょう。京王線のところにいろいろな緑の、足元ですかね、いろいろ張ってあったりして、ダービーの気持ちが盛り上がっているかなと思います。

きょうは、会議のほうも含めて新しい資料をいろいろ出していただきますので、審議のほうをお願いしたいと思います。

まず、委員の出席状況、事務局のほうから報告をお願いいたします。

○事務局 おはようございます。本日はご多忙のところ、本協議会にご出席、ありがとうございます。

それでは、事務局のほうから出席状況の確認の前に、前回、ご都合により欠席されました谷合委員、渡辺委員、順に自己紹介をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○谷合委員 府中第三中学校の校長の谷合でございます。どうぞよろしく願いいたします。ご縁あって私も保健体育科の教員でございまして、そういったご縁なんかもあるのかなと思っています。中学校の代表として、子どもたちの健全育成に向けて、スポーツは非常に重要な内容でございますので、いろいろなところでぜひ良い計画になって、子どもたちがもっともっと伸びやかにスポーツに親しめるようになれるといいなと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○渡辺委員 渡辺と申します。前回、体調が悪くてお休みさせていただいて、ご迷惑をおかけしました。よろしく願いいたします。

○事務局 それでは、改めまして本日の出席状況をご報告申し上げます。委員定数10名中8名の委員の皆様にご出席をいただいております。したがいまして、府中市スポーツ推進検討協議会設置要綱第6条2項に基づく過半数の出席をいただいておりますので、本協議会は有効に成立していることをご報告申し上げます。なお、本日、中川委員、後藤委員につきましては、議会の関係がございまして、その関係で本日、欠席というご連絡をいただいておりますので、ご報告申し上げます。

以上でございます。

○菊山会長 では、きょうは8名ということで、会のほうをよろしく願いいたします。

では、傍聴希望について、報告をお願いします。

○事務局 本日、傍聴希望者につきましてはおりませんので、このまま会のほうは進行させていただきたいと思います。

以上でございます。

○菊山会長 わかりました。では、事務局のほうから配付資料等について、説明のほ

うをお願いいたします。

○事務局 それでは、本日の資料について確認をさせていただきます。お手元に配付している資料でございます。

まず、1つ目が、第2回府中市スポーツ推進計画検討協議会のレジュメでございます。続きまして資料1、府中市のスポーツを取り巻く状況についてというのが、左上のホチキスどめで7ページまで綴じています。確認をよろしくをお願いいたします。続きまして資料2、旧計画内容の振り返りについて、A4で両刷り1枚でございます。

そのほかに参考資料といたしまして3点ございます。1点目がA4で、府中市スポーツ行政の背景についてということで、A4、両面刷りになっているもの。そして、同じくクリップでとめておりますが、A3判で旧計画に掲げる取組み項目の現状と成果についてということで、こちらが3ページまででA3で2枚になります。

そして最後に、府中市スポーツ振興推進計画、こちらにつきましては、第1回目の会議のときに配付をさせていただきましたが、本日、委員の皆様が活用しやすいようにページを付番したものを改めて机上に配付をさせていただきました。差しかえのほどよろしくご説明申し上げます。なお、前に配付させていただきました資料につきましては、会議終了後、事務局が回収に伺いますので、ご承知おきください。

以上でございます。

○菊山会長 ありがとうございます。何点か資料の説明がありましたけれども、お手元大丈夫でしょうか。あるいはなければ……。

では、資料1と2、それから参考というのが3つということで、これから会議のほうに入っていきたいと思えます。

まず、レジュメに従いまして進んでいきたいと思えます。議題1、府中市のスポーツを取り巻く状況について、事務局のほうから説明をお願いします。

○事務局 それでは、本日、ご協議いただきます資料につきましては、委員の皆様にも事前にお目通しをいただくため、開催通知と一緒に同封させていただきましたが、今、確認させていただきましたけれども、皆様の机上に配付させていただいております資料1、資料2と同様のものがありますので、あらかじめご承知おきください。今後の進行では、資料番号が記載してある資料をもとに進めさせていただきます。

それでは、資料1、府中市のスポーツを取り巻く状況についてをご覧ください。

失礼します。座りながら説明申し上げます。

本件の内容につきましては大きく2点に分かれまして、1点目が、スポーツ実施状況とスポーツに対する意識調査結果と、2点目が、今日のスポーツ行政と深くかかわるスポーツ関係団体及びスポーツ施設の状況等について説明した内容が構成となっております。

まず、1、スポーツ実施状況とスポーツに対する意識から順に説明申し上げます。

本項目の(1)からページをめくっていただきまして(4)につきましては、本市

が府中市内の満20以上の男女個人1,000人を対象として、平成22年度に実施した市政世論調査の結果でございます。

まず(1)市民運動・スポーツ実施率ですが、週1回以上の実施率が44.7%ある一方、1年間全くしないが27.2%となっております。

(2)運動・スポーツのクラブや同好会への参加率ですが、クラブや同好会に参加している市民の割合が33.2%おり、今は参加していないが参加を希望しているが19.5%いる一方、参加していない、今後も予定がないが34.8%います。

続きましてページをめくっていただきまして、(3)スポーツをしない理由でございますが、時間がないからが45.5%と最も多く、続いて疲れているからが27.7%、きっかけがないからが27.3%の順となっております。

次に(4)スポーツをする目的や期待でございますが、気分転換、リフレッシュが56.0%と最も多く、続いて医師の指導初め、健康維持、体力維持が53.2%と高くなっております。

続きまして、次のページでございますが(5)から(8)につきましては、平成23年度から東京都教育委員会により全児童・生徒を対象として実施している、東京都統一体力テストの平成24年度、本市の公立小・中学校実施結果から抜粋した内容を記載しております。

(5)子どもの運動、スポーツ実施率ですが、市立小・中学校に通う児童・生徒のうち、運動・スポーツを46.6%の児童・生徒が毎日すると答えている一方、7.4%の児童・生徒はしないと答えています。

次に(6)子どもの運動部等所属状況でございますが、市立小・中学校に通う児童・生徒のうち、65%が運動部等に加入しており、35%が未加入となっております。

ページをめくっていただきまして(7)子どもの運動・スポーツの好き嫌いですが、市立小・中学校に通う児童・生徒のうち、好きとやや好きをあわせて90.1%が運動・スポーツを好きだと感じているのに対し、やや嫌い、嫌いをあわせて9.8%が運動・スポーツを嫌いだと感じています。

続きまして(8)子どもの運動・スポーツの得意・不得意ですが、市立小・中学校に通う児童・生徒のうち、得意、やや得意をあわせて72.6%が運動・スポーツを得意だと感じている一方、やや不得意、不得意をあわせて27.4%の児童・生徒は不得意だと感じています。

次に2、市内スポーツ関係者でございますが、地域のスポーツ関係者といたしまして、本市の競技スポーツ団体を統括する府中市体育協会と、陸上競技協会を初めとする30競技の加盟団体のほか、体育協会加盟団体以外のスポーツ団体、府中市スポーツ推進委員会、総合型地域スポーツクラブ等の団体を紹介しております。

次に、ページをおめくりください。3、市内スポーツ施設でございますが、市内の総合体育館、地域体育館を初めとする競技種目ごとのスポーツ施設数ほか、そのほか

のスポーツ活動が行われている場を提供しております。

最後に、4、スポーツに関する圏域でございますが、圏域につきましては大きく3つの圏域を重層的に活用しております。まず1つ目は、文化センター圏域、11圏域を活用して、家族や生活に近い場所でレクリエーション・スポーツに親しむことができる圏域。2つ目は、市内を6つの区域に分けたスポーツ圏域をもとに、市民1人1人が日常生活の中で継続的に身近なところでスポーツ活動を行うことができる圏域。3つ目は、主に中学校区を区域とした青少対の活動区域でございます。

以上が、府中市のスポーツを取り巻く状況でございます。

以上でございます。

○菊山会長 ありがとうございます。資料1に基づきまして、本市のスポーツを取り巻く状況について、大きく1から4までご説明がありました。何かご説明とか補足とかありましたら、各委員さんのほうからお出しただければと思いますけれども、いかがでしょうか。

○島中委員 最初のスポーツを取り巻く状況についてのグラフのほうで2点質問があります。1点目は、(2) スポーツクラブや同好会への参加率の33.2%という数字なのですけれども、全国的に見ると、多分この数字は10%台後半ぐらいの数字だと思うのです。33というのは非常に高い数字で、もし本当だったら府中市はすごいなというところなのですが、私、この数字を以前にも拝見したことがあるのですけれども、質問が市民一般全部に対して、上の(1)の質問と同じように全員に対して聞いたものか、あるいはスポーツを既にしている人に対して聞いたのかというのがはっきりしないので、確認いただけたらありがたいというのが1点目です。

もう1点は、(5)からの子どもに関する部分なのですが、こちらに市立小・中学校に通う児童・生徒というまとめ方をしておりますが、実際には小学生というのはかなりスポーツに対する取り組みはされている部分であると思えますし、中学生になるとやはりしていない子が顕著になってくるというところを一まとめにして、小・中学校に通うというくくり方で数値化したということに対して、適切でこういうくくり方でいいのかなという確認を、以上2点、質問させていただきたいと思えます。

○菊山会長 わかりました。まず1点目につきましては、1ページ目にあります(1)、(2)の調査の対象者についてということですね。事務局のほう、よろしいですか。

○事務局 では、まず1点目についてご説明をさせていただきます。こちらは先ほど口頭で説明させていただいた中にもございましたが、毎年行っております市民世論調査、こちらの中の特設設問という形で隔年、原則やっているところでございます。

この調査の概要といたしましては、府中市全域にお住いの満20歳以上の男女個人という形で、標本は1,000人という形で、あとは住基台帳のほうから各地域、住民台帳上の登録人口を11の文化センターの区域ごとに分けまして、そこから無作為に抽出した結果でございます。母体は1,000ということで、こういった調査は

3,000以上やらないとというようなお話もございますが、1,000という形でもこれは個別の面接に基づきまして、回収率が80%を超えるような非常に高い回収率で行った調査でございますので、特定のスポーツをやられているような方を限定してやった調査であるのではないと考えているところでございます。

以上でございます。

○島中委員 私は今、調査の信用性についてお伺いしたのではなくて、サンプリングの仕方として、1点目の(1)の質問は、多分市民全員の方にスポーツをしていますかという問いかけをしたのだと思います。それが結果として44.7%が週1回以上はしていますよという答えだったと思います。(2)については、同じように全員に対してスポーツクラブに入っているのですかと聞いた結果が33.2%だったのか、あるいは(1)の質問でスポーツをしているよという人に対して、44.7%の人に対してクラブに入っていますかと聞いたのかどうかという違いを知りたかったという。

○菊山会長 もとになるのは(1)、(2)も1,000人というのはベースですね。全市民対象ではないと。その辺のところ、事務局、補足できますか。

○事務局 失礼いたしました。設問で順番にこういった質問して答えていただいているわけですが、(1)の中でやっているという方に対して次の質問という形です。やっていない方はそこからは除外された形で、(2)の設問というのは集計をしているというふうにご理解いただければと思います。

○菊山会長 では、(1)でスポーツをしている人が母体になっていると。そのうちの33%がクラブとか同好会に入っているということ。市民全体にすると当然率はもっと下がってくるということですよ。先ほど島中委員が言われた10%ぐらいという、全国規模に合うのかもしれないですね。

よろしいですか、1点目につきましては。

では、2点目、(5)(6)等の子どもの調査についてのご質問ですけれども。

○事務局 それでは、2点目の小・中学校を一緒くたとした形の表記でいいのか。島中委員さんのご質問、いわゆる見せ方の部分等が出てくると思うのです。私どもが今、説明申し上げたとおり、こちらは東京都の集計調査をもとに1つのグラフというふうに示させていただいておりますが、当然、ここに当たっては小学校、中学校の状況等も数字を捉えた上でのものがございますので、そのところにつきましては、一緒くたにしなくても分けるということは可能でございますので、その辺は委員の皆様の方でご意見等をいただければ、私どもは対応できるようになっております。

以上です。

○菊山会長 細かく分けることは可能だということだそうですね。

ほか、ご意見とかご質問とかありましたら、お願いいたします。よろしいですか。

現状についての説明ということですので、次のほうに進めていきたいと思っております。

では、続いて、本日の議題2、旧計画内容の振り返りについて、事務局のほうから説明をお願いします。

○事務局 それでは、議題に入る前に、本議題を円滑にご協議いただくため、事務局から委員の皆様へ、これまでの本市のスポーツ行政の背景を含めまして、旧計画の取り組み状況などをご説明させていただいた上で、議題2についてご協議いただきたいと思っておりますので、よろしくようお願い申し上げます。

それではまず、参考資料の府中市スポーツ行政の背景について、A4、1枚でございますが、そちらをご覧ください。

○菊山会長 こちらの参考資料のほうです。

○事務局 恐縮でございますが、座りながらご説明申し上げます。

府中市のスポーツ行政の背景について。府中市では昔からスポーツが盛んに行われてきており、最も古い歴史があるスポーツは、大國魂神社の祭礼行事として行われた八朔相撲であると言われております。約400年余りの歴史を持って、現在まで受け継がれているところでございます。

戦前は、青年団の体育活動として陸上競技や野球が盛んに行われ、特に陸上競技は三多摩はもちろん、東京都の中心的な存在でございました。また、戦後は、職場を中心とした野球が流行し、その野球熱が地域にも急速に高まり、地域スポーツの発展に大きな役割を果たしてきました。

このような歴史を受け継いで、本市では多くの市民が自発的にスポーツ活動に親しむことができるよう、これまでスポーツ環境を整えてまいりました。

本市のスポーツ行政の施策の動きとしては、大きく3点ございます。1点目は、昭和53年に、市の施策として打ち出したスポーツの生活化で、市民1人1人が日常生活の中で継続的に身近な活動として、スポーツ活動を行うことができるよう、スポーツ振興の方向性を示してまいりました。2点目は、昭和56年の地域体育施設のあり方の答申を受けた地域体育施設の整備で、市内を6地区に分け、それぞれの地区で身近なところで手軽にスポーツ活動が行えるよう、体育館を初めとするスポーツ施設を整備してまいりました。3点目は、ニュースポーツの普及で、これまで一部の若者が行うスポーツというイメージを払拭し、誰もが手軽に行える新しいスポーツの全国的な普及に努めており、昭和55年から高齢者を中心にしたゲートボールを手始めに、積極的に取り組み、平成2年には府中市体育指導委員会が、府中市独自のニュースポーツとしてラリーテニスを開発いたしました。さらに、これまでの既存事業に加え、全市的な事業として、平成9年度からは10月10日体育の日になみ、市内に5つある地域体育館（白糸台、押立、栄町、本宿、四谷）で、スポーツになじみの浅い市民にもスポーツに親しんでもらうことを目的に、みんなのスポーツdayを実施し、また、平成16年度には市内を活動場所の拠点とするトップリーグ5団体（東芝ラグビー部、サントリーラグビー部、トヨタ男子バスケットボール部、NEC男子バレー

ボール部、FC東京)の協力を得て、市制50周年を記念し、味の素スタジアムにおいてボールふれあいフェスタを開催しております。

施設面では、全市的な施設である市民球場、陸上競技場、総合体育館などのほか、地域体育施設を整備し、各地域に体育館、プール、テニスコートなどを配置するなど、市が整備した施設だけで48カ所の施設を抱え、他市に類を見ないスポーツ施設の充実を図ってまいりました。

そのような状況で、平成17年3月に策定された府中市スポーツ振興推進計画には、スポーツタウン府中の実現に向けて、現在のスポーツ施設のリニューアルや新たなスポーツ施設整備のほか、これまで市民が自主的に行うスポーツ活動の推進に加えて、スポーツイベントと観光を組み合わせたスポーツツーリズムによる観光客誘致策など幅広い視点の施策が盛り込まれました。

しかしながら、平成20年のリーマンショックやヨーロッパの債務危機など世界的不況から脱することができない状況の中で発生した東日本大震災などの影響により、国はもとより本市の財政状況は極めて深刻な状況となっております。

今後、本市が健全財政を維持していくための大きな課題として、公共施設のあり方が挙げられます。本市は、近隣自治体と比較しても市民1人当たりの公共施設面積が多い状況でございます。市内の公共施設の多くは、建築後30年以上を経過しており、今後劣化が著しくなる時代を迎えます。これらの更新費用が厳しい財政状況の中で大きな財政負担となることは、府中市公共施設マネジメント白書からも明らかになっているところでございます。

このことから、施設の更新費用が財政に与える影響を抑えるとともに、公共施設を経営資源と捉え、総合的かつ長期的視点による費用とサービスの最適化について検討が進められております。

今後、平成26年度以降、新たなスポーツ推進計画を策定するに当たっては、スポーツタウン府中の発展に向けて、市民にとってスポーツの生活化がより実感できる具体的な市民スポーツ活動の推進策が求められておりますが、同時に本市の財政状況を十分に踏まえていく必要がございます。

以上でございます。

○菊山会長 かなり長くまとめてもらっておりますけれども、もう1つ続けてA3のほうも行きましょうか。では、もう1つ参考資料、A3のほうの旧計画に掲げる取り組み項目の現状と成果について、こちらでも説明を受けた後、また意見交換をしていきたいと思っておりますので、事務局のほう、お願いいたします。

○事務局 それでは、お手元の資料、旧計画に掲げる取り組み項目の現状と成果についてをご説明申し上げます。

まず、この資料の中でございますが、左上項目をごらんください。計画の体系別取り組み項目として、この項目に対する右側、対応状況、そしてその理由という形になっ

ております。そして、この左側、体系別取組み項目につきましては、5つの取組み項目から構成されておまして、まず初めに、1、自立したスポーツ活動の振興、2、みるスポーツ活動の振興、一枚めくっていただいて3、貢献するスポーツの振興、4、パートナーシップによるスポーツの振興、最後に5、4本の柱をつなぐスポーツ施設の整備という形になっております。

それでは、順にご説明申し上げますが、誠に恐縮でございます。本日、改めて配付をさせていただきました府中市スポーツ振興推進計画の15ページをお開きいただいて、以降、この計画に載っている項目に沿って、私のほうから説明させていただきますので、対照しながらご確認をいただきたいと思っております。

○菊山会長 冊子になっているほうの15ページをまとめたものが、A3のほうに写っているということでご理解ください。冊子のほうの15ページからになるかと思っております。

では、事務局、お願いします。

○事務局 それでは、1、自立したスポーツ活動の振興でございます。(1)スポーツ圏域の見直しについてでございますが、対応状況につきましては、一部実施済みと捉えております。理由は、総合型地域スポーツクラブの設置につきましては、平成23年度に朝日体育館を活動拠点とし、1クラブが設置されました。現状の地域体育館、学校体育施設など利用状況から鑑みて、現状ではこれ以上のクラブの増設は厳しいというふうに捉えております。

(2)生涯スポーツプログラムの開発でございますが、対応状況は、条件が整えば実施と捉えております。これまで子どもから高齢者を対象に市民が個人の体力や運動能力にあわせて参加できる教室を、郷土の森総合体育館や地域体育館で実施しております。今後は民間事業者などの連携についても検討していきたいというふうに考えているところでございます。

(3)スポーツ団体の自立支援でございますが、対応状況は一部実施済みと捉えております。各スポーツ団体の組織力を高めるための支援につきましては、平成20年度から5年間、市内に活動の基盤を持つ府中市体育協会に加盟する団体などを対象に、委託事業としてスポーツ体験講習会、スポーツ団体指導者講習会を実施し、また、特定のスポーツ種目や選手の大会派遣など仕組みについて記載してございますが、こちらにつきましては、現状は見直しの予定はございません。

(4)民間スポーツクラブとの連携でございますが、対応状況といたしましては、条件が整えば実施として捉えております。生涯学習センターの指定管理者が実施するプログラムなど民間のノウハウを参考にし、民間クラブとの連携が可能かどうか今後研究していくというふうに考えております。

(5)ジュニア指導者の育成の3点のうち、1点目、ア、ジュニアスポーツ指導者育成プロジェクトの展開でございますが、対応状況といたしましては、市施策になじ

まずとして捉えております。府中市ジュニアスポーツマスター制度の設立につきましては、各スポーツ団体と本事業の必要性などさまざまな議論がなされたところでございますが、具体的な進展には至っておりませんでした。

イ、一流選手とのふれあい機会の拡大でございますが、対応状況は実施済みとして捉えております。ボールふれあいフェスタの開催を通じて、引き続き子どもたちとトップアスリートの触れ合い機会を創出するとともに、新たな取組みについて今後、検討してまいりたいと考えております。

ウ、中学生スポーツ活動支援のユーススポーツクラブの設立でございますが、対応状況といたしまして、市施策になじまずというふうには捉えております。総合型地域スポーツクラブへの中学生を対象とするスポーツクラブの併設については、クラブの自主性に委ねたいというふうには考えております。

次に、指導者バンクの設立でございますが、対応状況といたしましては、条件を整えば実施として捉えております。今後、市として次世代育成指導者制度のあり方についていきましては検討する必要があると考えております。

(6) スポーツ環境調査の実施でございますが、対応状況は実施済みとして捉えております。市が実施する市政世論調査で実施しておりまして、今回は平成25年度に実施する予定でございます。

次の柱に移ります。2、みるスポーツ活動の振興。(1) 観戦施設の整備でございますが、対応状況といたしましては、一部実施済みとして捉えております。市民球場や朝日サッカー場についてはスポーツ祭東京2013開催に向けて、施設整備を行ってまいりました。総合体育館の整備につきましては、近年の財政状況では困難として捉えております。

(2) 一流アスリートによるゲームの招聘でございますが、対応状況につきましては実施済みとして捉えております。平成21年度にFリーグに加盟した府中アスレティックフットボールクラブが総合体育館をホームゲームとして活躍しております。

(3) スポーツツアーの実施でございますが、対応状況といたしましては、一部実施済みとして捉えております。市内とチームが市民を対象とした招待試合などを開催する際、広報など側面的な支援を行ってまいりました。今後、トップチームを市民が一体となって応援できる取組みについて協議、検討してまいりたいと考えております。

(4) 観戦サポート体制の充実でございます。対応状況につきましては、一部実施済みとして捉えております。障害のある方や高齢者に観戦していただく機会につきましては、一部トップチームにおいて実施しておりますけれども、ゲームの解説につきましては自主性に任せたいというふうには考えております。

ページをおめくりください。(5) スポーツ情報の発信機能の充実でございますが、対応状況といたしまして、一部実施済みとして捉えております。情報交流のシステムの整備やスポーツ電子掲示板の設置につきましては、近年の財政状況からは厳しいと

して捉えております。発信機能の充実につきましては、本市出身のトップアスリートが日本代表に選出された際や、また、市内トップチームがリーグ戦などで優勝した際には、懸垂幕、横断幕の掲出や市のホームページによる情報発信を行っているところでございます。

(6) スポーツ情報の充実でございます。対応状況といたしましては、一部実施済みとして捉えております。スポーツ情報センターの設置につきましては、近年の財政状況で厳しい状況でございますが、トップチーム関連の記念品などについて、総合体育館の1階ロビーに展示しているところでございます。

(7) パブリックビューの実施についてでございますが、対応状況につきましては実施に向けて検討として捉えております。市内のトップチームに限らず、地元ゆかりのある選手を応援することを目的に、オリンピックなど国外を含む遠方で開催される大会について、市内の施設を利用したパブリックビューの実施について検討していきたいと考えております。

(8) 交通網の強化についてでございますが、対応状況につきましては、条件が整えば実施として捉えております。公共交通機関への要請につきましては、主催者からの依頼により、可能な範囲で協力していきたいというふうに考えております。

次に、3の貢献するスポーツの振興でございます。(1) 社会貢献をするスポーツ団体の育成についてでございますが、対応状況につきましては、一部実施済みとして捉えております。体育協会加盟団体などにおいて、一般市民を対象に初心者講習会等を開催しております。

(2) 社会貢献の機会の提供と評価についてでございますが、対応状況につきましては、当面実施が困難として捉えております。根本的な施設の適正管理については、市が行いつつも、利用団体に意識づけを続けていきたいというふうに考えております。

(3) スポーツボランティアの育成についてでございますが、対応状況につきましては、一部実施済みとして捉えております。平成22年に、府中コミスポ協力者登録者制度を設立いたしまして、現在25名の登録があり、市ではボランティア活動機会の提供及び資質向上のための研修会を年1回行っております。スポーツボランティアセンターの設置につきましては、近年の財政状況では設置は困難でございます。

(4) スポーツを支える市民協働意識の普及についてでございますが、対応状況につきましては、実施済みとして捉えております。現在、2つのトップチーム、FC東京(サッカー)、トヨタ自動車アルバルクにおいて、市民で構成する組織、ホームタウン委員会が設立されており、トップチームを支援しております。

続きまして、4、パートナーシップによるスポーツの振興でございますが、(1) スポーツ支援法人の設立支援についてでございますが、対応状況につきましては実施済みとして捉えております。平成20年度に府中市体育協会がNPO法人格を取得いたしました。

(2) トップアスリートチームとの連携の強化についてでございますが、対応状況につきましては、条件が整えば実施として捉えております。トップチームとの事業協定の実現はできておりません。スポーツタウン府中として三位一体的な行政トライアングルシステムの構築について、今後、連携の強化を行っていきたいと考えております。

(3) 市内大学の特徴を生かし市民と協働する学社連携についてでございますが、対応状況につきましては、一部実施済みとして捉えております。みんなのスポーツ dayにおいて、大学等に協力を得て実施しており、さらに、少年野球連盟が明治大学硬式野球部を招き、少年野球教室を、こちらは都の委託事業でございますが、毎年実施しているところでございます。

(4) スポーツ関連団体のNPO法人化の促進についてでございますが、対応状況につきましては、実施済みとして捉えております。団体のNPO法人化につきましては、スポーツ団体に限らず、府中市NPO・ボランティア活動センターにおいて、市民へのNPO・ボランティアに関する情報提供、相談事業などを活動の拠点として事業の推進を図っております。

(5) 多摩国体の開催に向けた基盤の確保についてでございますが、対応状況につきましましては、実施済みとして捉えております。スポーツ祭東京2013開催に向け、平成23年度市の組織に国体推進室を設置し、関係機関との連携、強化のもと、大会の円滑な開催に向けて鋭意準備を進めているところでございます。

最後の柱、4本の柱をつなぐスポーツ施設の整備でございますが、(1)健康センター事業の整備についての2点のうち、初めのア、総合体育館の整備についてでございますが、対応状況につきましては、当面実施が困難として捉えております。近年の財政状況などさまざまな課題があり、総合体育館の整備が厳しい状況でございます。

イ、総合プールの改修についてでございますが、対応状況につきましては、当面実施が困難として捉えております。こちらも近年の財政状況では改修は困難であるというところで捉えております。

続きまして3ページでございますが、(2)庭球場の充実についてでございますが、対応状況につきましては、当面、実施が困難として捉えております。一般利用の効率化を推進するため、市民大会などの開催に伴い確保した庭球場の日程、予備日も含め、不要になった場合、一般利用への変更に努めてまいりました。庭球場の増設につきましては、近年の財政状況では困難であると捉えております。

ご説明申し上げます。ただいま(2)の庭球場の充実につきましては、対応状況、当面実施が困難と説明いたしましたが、一部実施済みの誤りですので訂正させていただきます。大変申しわけございませんでした。

(3) ストリートスポーツパークの新設についてでございますが、対応状況につきましては、当面実施が困難として捉えております。近年の財政状況では、新たな施設

の設置について、困難として捉えております。

(4) 朝日サッカー場の整備についてでございますが、対応状況につきましては、実施済みとして捉えております。平成25年9月から開催されるスポーツ祭東京2013に向け、施設整備を行いました。

(5) 市民プールの改修についてでございますが、対応状況につきましては、一部実施済みとして捉えております。管理棟、プール槽、給排水施設などの改修工事について、平成18年度に実施しており、また、新たなスポーツゾーンとして、総合的な見直しにつきましては、近年の財政状況では困難として捉えております。

(6) 朝日体育館の整備についてでございますが、対応状況につきましては、実施済みとして捉えております。平成21年度に改修工事を行っております。また、引き続き、市民が身近なところでスポーツ活動ができる施設として活用してまいりたいと考えております。

(7) 観戦施設の整備についてでございますが、対応状況につきましては、一部実施済みとして捉えております。こちらは先ほど説明申し上げました2のみるスポーツ活動の振興、(1) 観戦施設の整備と同様でございます。

(8) ウォーキングコースの整備についてでございますが、対応状況につきましては、一部実施済みとして捉えております。近年の財政状況では、コース整備は困難でございますが、平成21年度に健康推進課と協力して、各地域体育館周辺のウォーキングマップを作成いたしました。そのほか観光や文化財めぐりなどのコースマップを、それぞれ所管課において作成しております。

(9) 中核施設の整備と活用についてでございますが、対応状況につきましては、当面実施が困難として捉えております。近年の財政状況では新たな施設の設置については困難として捉えております。

(10) スポーツ資源の活用と整備についてでございますが、対応状況につきましては、実施済みとして捉えております。トップチームを支援し、盛り上げていく仕組みにつきましては、2(5)、3(4)のとおりでございます。そのほか、スポーツ祭東京2013開催に伴う市内のスポーツ施設の整備については対応済みでございます。

説明については、以上でございます。

○菊山会長 ありがとうございます。かなり長い資料をもとに説明がありました。何かもうちょっとここを深く聞いてみたいとか、ご意見とかがありましたら少し時間をとりたいと思いますけれども、いかがでしょうか。

1枚もののスポーツ行政の背景について、あるいは今、説明がありましたA3、3ページの現状と成果について、どちらでも構いませんけれども。

○須藤副会長 行政の背景のところ、八朔相撲というのは今、どのくらいの人数が参加しているのでしょうか。

○事務局 毎年8月1日、大國魂神社のほうでやっている神事になります。直接市の

ほうで所管していないもので、ごめんなさい。人数までは把握しておりません。

○島中委員 今の議題は、旧計画内容の振り返りについてということで、多岐にわたる説明をいただいたのですが、この議題の趣旨は、説明していただいたいろいろな計画の中で実施できたものや、困難なものや、今できないもの、いろいろとあるということなのですが、そのなぜできなかったのかとか、ここが良かったというフィードバックをするための議論というふうに捉えていいのですか。

○事務局 ただいまの島中委員のご質問にお答えいたしますが、今、資料に基づき説明申し上げましたのは、次の議題の旧計画内容の振り返りのところに関わります。委員の皆様事前に資料を送付させていただきましたが、それだけではこれまでの府中市の歴史とか現状が把握できず、皆様に円滑なご協議等がいただけないと思ひまして、こういった形で資料のほうを整えさせていただきました。委員の皆様をお願いしたいところは、こういう状況を踏まえ、これからご協議いただく、計画内容の振り返りを読んでいただきたいというふうに捉えているところでございます。

○菊山会長 島中委員、よろしいですか。

○島中委員 今、議題2ですよね。旧計画内容の振り返りについてをしていませんか。

○菊山会長 そこに入る前の前段階の現状の説明ということで捉えていただければと思います。よろしいですか。

○島中委員 はい。

○菊山会長 なぜできなかったとか、どういう原因があったかという評価については当然あるかと思ひますけれども、まずは現状を皆さんに共通理解していただきたいということで、資料のほうを準備していただきました。

では、行政のほうで、事務局のほうで捉えている背景について、あるいは現計画の現状と成果についてということは、こういう報告がありましたということでよろしいでしょうか。よろしいですか。

では、またもとに戻っての質問等も当然あるかと思ひますので、先に進めていきたいと思ひます。

では、議題2の本題のほうに入りたいと思ひますので、資料2になるのでしょうか。事務局のほうから説明をお願いします。

○事務局 それでは、お手元の資料2、旧計画内容の振り返りについて、ごらんください。

○菊山会長 この1枚ものになります。

○事務局 それでは、これまで説明させていただきました資料の内容等も踏まえまして、いろいろそれに足してご意見いただきたいと思うのですが、本件の内容につきましては、まず、導入文は、スポーツの生活化を施策の柱として、市民スポーツ活動の推進と、市内を6つの圏域に分けて、地域体育館を整備したことについて、及び現行計画、府中市スポーツ振興推進計画策定についての説明内容が記載してあります。

以降は、現行計画のそれぞれの柱ごとに、先ほど説明申し上げました参考資料、旧計画に掲げる取組み項目の現状と成果をもとに、集約した内容を記載しております。

以上で説明を終わりますが、文章のてにをはを含め、お気づきの点がございましたら、ご意見をいただきたいと存じます。

以上でございます。

○菊山会長 現在の計画内容についてまとめたものというのですか、簡単に集約したものをお示しいただきました。先ほどの参考資料の説明も含めてご質問、ご意見等がありましたらお願いしたいと思います。

捉え方、あるいはまとめ方がちょっと違うのではないかとか、こういうことが欠けているのではないかとということがもしありましたら、ご指摘をいただきたいと思いません。

現状の捉え方については、これでよろしいですかね。

島中委員、先ほどの関連したことでご質問とかご意見がありましたら。

○島中委員 1人で発言していると、議事録が私ばかりになってしまうので、皆さんの発言を……。

新しい計画をみんなでよりいいものをつくっていこうという会なので、やはり前の計画でできなかったこととかが何でできなかったのかとか、それからよりこうしたほうがいいのではないかという振り返り、まさに今、現状をみんなで共有しようということなのだと思うのですが、スポーツ推進委員として、ふだんから市民の皆さんと接している中で、1つ感じた大きなことは、現行の府中市スポーツ振興推進計画、平成18年にできたもの、こちらの計画自体が市民の皆さんに広く知られていないのではないかなという感じはしていました。というのは、別の協議会の席で、市内のかなりの数のスポーツ団体の代表の方とお話をさせていただいたことがあるのですが、そういうスポーツ団体の方でさえ、ほとんどの方がこの計画について知らなかったというのがありました。

計画というのは市がもちろんつくるものですが、やはり実行していくのは、市民と協働していくことは大事だと思いますので、旧計画について振り返りというところで1つ意見をさせていただくとすると、計画自体、真に市民のものであるように、市民に知らせる、あるいは一緒に取り組んでいくというような方向も必要ではないかなという気がいたしております。

○菊山会長 ありがとうございます。かなり大事なことになるかと思っておりますので、現の計画の中にも、大きな2の柱になるのですかね。2の柱、この振り返りのA3でいきますと、2ページ一番上のほう、(5)スポーツ情報の発信機能の充実ですとかスポーツ情報の充実とか、こういったところが欠けていたのではないかというようなご意見があります。次回のときにはそういったことも1つの視点として取り入れたらいいかがかというふうなご意見かと思っております。

ほかの委員の方も含めて、いかがでしょうか。何かお気づきの点。

○安藤委員 このみるスポーツの振興のボールふれあいフェスタの実施時期なのですが、これはこの競技団体の予定で毎年この時期になっているのですか。

○事務局 このボールふれあいフェスタにつきましては、市制50周年の記念事業ということで、味の素スタジアムで実施をしたということは先ほど説明の中でさせていただきましたが、実行委員会形式でこの事業を実施しているところでございます。その委員の構成といたしましては、各トップチームの方々からの代表の方、そして、その当該競技種目によるジュニア関係の方々、またはスポーツ推進委員さん等々の方々のご協力をいただいております。

皆様、やはりプロの選手が一堂にそろってという機会を設ける観点からすれば、そういった日程を調整した上でこれまでも進めてきているというところでございます。

○安藤委員 ありがとうございます。

○菊山会長 よろしいですか。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

○島中委員 もう1点よろしいですか。何度も済みません。もう1点、必要だなと思うことなのですが、それはスポーツ振興推進計画が策定されて動き出したわけなのですが、それから今、平成25年。この間のスポーツの個々の施策の対応状況のもう1つ上の段階で、それで全体的に市民のスポーツ推進、例えばスポーツ実施率がその5年間でどういう変遷、推移をしたのかというようなデータはございますか。

例えば、一例で言うと、地域体育館の利用効率がこういうふうに向上了とか、総合体育館がこうなった、全体として40%だったのが44.7%になったとか、そういうような計画に基づいた大きな成果があったのかどうかということをお聞きしたいと思います。

○菊山会長 資料1で示されたようなデータが、この18年度からですかね、変遷があったか、変容があったかということなのですが、事務局のほう、いかがでしょうか。

○事務局 今の利用状況にかかわらず、本計画につきましては総体的にかなり大きな内容として組み込まれているという状況が実態というふうに事務局は捉えております。したがって、実際は委員のご質問に対するご回答となるかわかりませんが、今、皆様にご協議いただく平成26年度以降の計画につきましては、より具体的な内容で、計画内容を策定してまいりたいというふうに考えているところでございます。以上でございます。

○菊山会長 よろしいですか。

○島中委員 ちょっとよくわからなかったのですが、もう少し簡単に、この計画によって府中市のスポーツ振興が大きく推進したのでしょうか、しなかったのでしょうか。そういうところが全体的に評価がないものですから、計画はどうだったのか

などというところが知りたい。

○菊山会長 今現在動いているスポーツ振興推進計画、8年、9年、実際にやってきているわけですがけれども、それに基づいて府中市のスポーツの親しみ方ですとか、施設が充実したかとか、そんなことについて全体的な評価はいかがかというご質問だと思いますけど、事務局、何かありますか。

○事務局 数字的なものにつきましては、当然、各年度の総合体育館、地域体育館の利用人数の集計というのは出せます。現在、それが一覧となっているものがないものですから、次回とかにそれをお示しすることは可能ではございますが、それが今回の実態の成果としてお示しできる数字かどうかというところは、その表をつくってみたいと何とも言えないところではございますが、数字的なものは後ほど、後日ですけれどもお示しすることはできるとは考えてはおります。

○菊山会長 基本的には、変遷については比較できるデータがあれば、次回にでも出していただくということ。それから参考、A3のほうですかね。3ページにわたって対応状況というところを多少読み取っていけば、実施済みというところがたくさん、左側に行っていれば成果があったと。右のほうについては、実際的には金銭的なことも財政的なことも含めて不可能だったということも読み取っていかなければいけないのかなと思いますけれども、全体的に言うと、多少左側が丸が多いかなというところが、成果があったというふうに評価できるかと思えますけれども。

島中委員、よろしいですか。データについては次回示していただく。

○島中委員 あまり細かいデータを出していただくことを要求しているわけではないので、全体的に何がどう機能していたか教えてくだされば結構です。

○菊山会長 1つの切り口から言えば、医療費が少なくなれば、当然スポーツによって健康度が高まったとか、いろいろな見方もあるかと思えますし。

○上村委員 ちょっと勉強不足であれなのですけれども、これを見せていただいて、障害者に関してとか高齢者に関してというのが、観戦サポート体制の充実という中には入っているのですけれども、実際に障害者の方たちを集めての何かスポーツ振興とか、そういったものの普及というのは、やはり府中市で全然行われていないという現状でずっと来ておりますが、その辺については全くこことは別に考えていることなのか、この中に組み入れて今後は考えていったいいのか、その辺はどうなのでしょう。

○菊山会長 現計画についてのこと、実際にどんなことがあったかという、次回の計画には入れられるかどうかという2つでしょうか。事務局のほう、いかがですか、その辺については。

○事務局 今後、府中市でどのようなスポーツの取り組みということでございますけれども、全国に先駆けて東京都のほうで、東京都障害者スポーツ計画を策定いたしました。その計画には、今後、各市町村へのアドバイザー的な形の考え方を持っている

とあります。今後、東京都と連携・協力をしながら、障害者スポーツについては、これから皆様にご協議いただく計画、そこも含めていかなければならないのかなと考えております。

実態といたしまして、正直私もここで障害者スポーツに並行して、スポーツの振興等事業を進めていくに当たって、一般の方々のいろいろなスポーツの功績ですとか活動状況というのはよく情報としては入ってくるのです。しかしながら、障害のある方がスポーツの場において活躍されているという情報が非常に少ないというのは、私、実感しているところなのです。ですので、今後はそういった視点も踏まえてこれからの計画にもその辺、市としてどういうことができるのかといったところもあろうかと思うのですが、含めていかなければならないのかなというふうには考えております。

○菊山会長 次回の計画にはデータも捉えながら、収集しながら入れていくべきではないかというふうに読み取りましたけれども、よろしいでしょうか。

上村委員のほうはよろしいですか。何か、よろしいですかね。

他はいかがでしょうか。

今日、ご準備いただいた資料については、説明のほうは以上なのですけれども、委員の方々、よろしいですか。

現状について、こちらで情報をつかんでいただきながら、次回のところから前向いて討議に入っていくかと思っておりますけれども。

では、きょうの資料説明に基づいた意見交換についてはここで切りたいと思っておりますけれども、よろしく申し上げます。

では、議題3、その他ということで、事務局のほう、何かありますか。

○事務局 事務局よりご連絡を申し上げます。会議録の確認の時期についてご連絡をさせていただきます。会議録につきましては、作成をした後に、委員の皆様にごその内容についてご確認をいただき、修正点等あれば、修正した後に公開という流れになっております。会議録は協議会の開催通知に同封をさせていただく予定です。それをもとに各委員でご確認をいただきまして、修正点等があった場合には、次回の会議にご持参の上、事務局にお渡しいただければと存じます。

なお、会議が不定期に開催されますことから、直近の会議録ではなくて、前々回の会議録を開催通知に同封させていただくこともあるかと思っておりますので、その点についてご了承いただければと存じます。

以上になります。

○菊山会長 会議録の公開についてご説明がありました。よろしいでしょうか。

○事務局 それでは、第1回目の協議会のときにスケジュールの関係で、最後の第9回の日程につきましては調整が必要ということで確認がとれておりませんでした。そこで、事務局のほうで調整をさせていただいたところ、皆様からの意見を踏まえ、最終的にご提案をさせていただいている1月8日水曜日、午後3時ということでご提案

をさせていただきたいというふうに考えておりますが、皆様の確認をよろしく願いいたします。

○菊山会長 前回、第9回までの日程を確認しましたがけれども、最終回、第9回に予定しているのが1月8日水曜日の午後3時以降で設定できるかということなのですが、都合の悪い委員の方、いらっしゃいますか。来年1月8日水曜日。大丈夫そうですか。

では、とりあえずそこを押さえておいていただきまして、何か入りましたらまたご相談したいと思っておりますけれども。

3時ということですか。

○事務局 3時からということも目標ではございますが、ただ、今後、委員の皆様、いろいろなご都合等も出てくるかと思っておりますので、それはまた直近の協議会のときに、再度時間等を確認させていただくという方法はいかがでしょうか。

○菊山会長 それでよろしいですね。今はまだ細かいところまでは。とりあえず8日の午後をあけておいていただいて、時間をとっておいていただくようにお努めいただければと思います。よろしく申し上げます。

ほか、委員の方含めて連絡事項等々、ご意見等もありましたら。

○小島委員 今の話だけれども、この間も1月8日という案が出たのでしょうか。それだけ、今、手帳を見たら消されているわけだよ、バツで。それがまた復活したということ。

○事務局 前回のときに1月8日は確定していなかったのです。委員の皆様が日程がばらばらの状況でございましたので、事務局のほうで最終的に調整させていただいて、今日ここで皆様にお諮りをさせていただいたということでございます。

○小島委員 では、きょう確定したということなのですね。

○菊山会長 よろしいですか。

○小島委員 復活確定。

○菊山会長 そうですね。よろしく申し上げます。

○小島委員 あとは変わらないのだね、12月とか11月とか。

○事務局 変わりません。

○菊山会長 では、事務局のほうにお願いなのですが、このスケジュール、前回（案）ということで候補が幾つか入っていましたので、確定したものを次回のときにご用意いただけますかね。

○事務局 はい、わかりました。

○菊山会長 よろしく願いいたします。

では、以上で本日の予定のものは終わりますが、よろしいでしょうか。

では、次回の確認ですけれども、第3回になります。6月20日木曜日の午前10時ということでご予定いただければと思います。次回から新計画の策定の趣旨、ある

いは基本的な考え方というふうに入って行く予定でありますので、また、それぞれご意見をお持ちよりいただければと思いますけれども、よろしいでしょうか。6月20日木曜日、午前10時です。

事務局、よろしいですか。

○事務局 はい。

○菊山会長 では、以上で本日の会議のほうを終了いたします。どうもお疲れさまでした。ありがとうございました。

——了——